

かけはし ー小だより

14 H22・12・9

読書まつりで大いに本に親しむ



11月22日(火)～12月3日(金)の12日間、児童会図書委員会による読書まつりが開催されました。「読書ラリー」や「読み聞かせ」、「親子読書週間」等を設定しながら進めてきました。

12月1日(水)には、「なかよし読書」や、紙芝居の読み聞かせなど読書に関わる学習を行いました。全校生が低・中・高に分かれ、大型紙芝居で活躍されている山形市在住の折原由美子先生をお招きして読書の楽しさを存分に味わいました。子ども達は、読書まつりを通して本の世界にどっぷりと浸ることができました。



「なかよし読書」 1年生と6年生

親子読書の感想

- ・一緒に取り組めて楽しい時間がすごせて大変よかったです。
- ・話の展開がどうなるかドキドキしながら親子のふれあいを楽しみました。
- ・仲のいい兄妹、親子のくまの本で心があたたかくなりました。
- ・話がふくらみ楽しかったです。

不思議な光 理科実験ショー

12月2日(木) 理科実験ショー第2弾 自分の身の回りのことにもっと関心を持たせることをねらいに、2回目の実験ショーを行いました。光の進み方を中心にいろいろな実験機材を展示していただき、午前中はそれらを十分に体験し、午後の実験(宮城教育大学千葉芳明教授)の講演に臨み、楽しい中に光の不思議に触れることができました



理科実験ショー



ふれあい天文学講座

・ぼくは本物のいん石を触ったことがとってもうれしくて、触った手を洗いたくないくらいでした。ほかにもすごい映像ばかりでとっても楽しい時間となりました。



12月3日(金)日頃会う機会のない天文学者から直接授業を受けることにより天文学に親しみや興味を持たせることをねらいに、「ふれあい天文学講座」を開催しました。6年生44名を対象として国立天文台教授の佐々木晶先生をお招きして月探査機「かぐや」と小惑星探査機「はやぶさ」について実際の映像を交えてお話をして頂きました。



小惑星イトカワについて



佐々木先生が撮影した打ち上げの瞬間

子どもたちの感想

- ・私は月や星が好きで、天文学の講座あると聞いてとてもわくわくしました。いん石や月のレプリカなどさわれてすごく楽しかったです。
- ・月は、表と裏があることは、はじめて知りました。探査機「かぐや」が撮影した地球はとてもきれいだったので、これからも地球を大切にしたいです。
- ・探査機「かぐや」の打ち上げを見て、すごく迫力があって予想以上にびっくりしました。
- ・いん石を直にさわるととても感激しました。そして、人工衛星はレーザーを発射して月のデコボコがわかるということを知ってすごいなと思いました。
- ・佐々木先生が「はやぶさ」や「かぐや」にかかわっている人だと聞いてとてもびっくりしました。また、「世界一受けたい授業」のテレビに出たことがあると聞いてサインをもらいたくなりました。
- ・今、国語で宇宙の事を勉強していて、火星に住めるかどうかなどのことも教えていただきありがとうございました。このことは一生忘れないと思います。



授業の後、講師を囲んで楽しく天文学

子どもたちのがんばり

山形県少年少女俳句大会

佳作 2年 菅野 奈暉

西置賜防火ポスターコンクール

優秀 6年 小浦 翼

佳作 4年 佐藤 史都

〃 4年 本間 唯

入選 4年 手塚 晴登

〃 6年 古川 学之

〃 6年 小浦明日香

飯豊町食育推進ポスターコンクール

金賞 2年 富永 心涼